

Step 5 電源をONにする／OSをセットアップする

次の手順に従って、本機の電源をONにします。

- ① ディスプレイの電源をONにします。初期設定時は、ディスプレイ、キーボード、マウス以外の周辺機器は取り外しておきます。
- ② STATUSランプ1が緑色、STATUSランプ2がアンバー色に点灯しているときは、これらが消灯するまで待ちます。
- ③ フロントベゼルを取り外し、POWERスイッチを押します。ディスプレイに「NEC」ロゴが表示されます。



電源ON後、ディスプレイにエラーメッセージが表示されたり、ピープ音が何度も鳴ったりしたときは、メッセージまたはピープ音の鳴り方を保守サービス会社に連絡してください。

- ④ 購入時の状態に応じて、以下のいずれかの操作をします。
OSがプリインストールされている場合：
そのまま何も操作をせずに待ちます。しばらくするとOSが起動します。手順⑩へ進んでください。
OSがプリインストールされていない場合：
画面下に次のメッセージが表示されているとき、<F2>キーを押します(メッセージはハードウェア構成により変わることがあります)。

Press <F2> SETUP, <F3> Internal Flash Memory, <F4> ROM Utility, <F12> Network

しばらくすると、BIOSセットアップユーティリティが起動します。手順⑤へ進んでください。

- ⑤ インストールしようとするOSに合わせ、BIOSの以下の設定を変更します。

	X2APIC ^{*1}	Boot Mode ^{*2}
Windows Server 2012 R2	Enabled	UEFI
Windows Server 2012	Enabled	UEFI
Windows Server 2008 R2	Disabled	Legacy
Red Hat Enterprise Linux 7.2 (x86_64)	Enabled	UEFI
Red Hat Enterprise Linux 6.7 (x86_64)	Enabled	UEFI
VMware ESXi 5/6	Disabled	Legacy

*1 AdvancedメニューのProcessor Configurationを選択します。

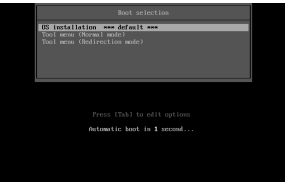
*2 Bootメニューを選択します。

変更後、<F4>キー押し、[Yes]を選択して設定を保存します。
ユーティリティが終了すると、自動的に再起動します。

- ⑥ 画面下に次のメッセージが表示されているとき、<F3>キーを押します。

Press <F2> SETUP, <F3> Internal Flash Memory, <F4> ROM Utility, <F12> Network

しばらくすると、EXPRESSBUILDERが起動します。



- ⑦ ブートメニューから、「OS installation」を選択します。

- ⑧ 言語選択のメニューから「日本語」を選択します。



- ⑨ ホームメニューの「セットアップ」を選択します。

- ⑩ 以降、インストレーションガイドに従って、OSのセットアップを進めます。
Windowsをセットアップするときは、「インストレーションガイド(Windows編)」を参照してください。
Linuxをセットアップするときは、「インストレーションガイド(Linux編)」を参照してください。



インストレーションガイドは、ユーザーズガイドと同様にEXPRESSBUILDERに格納されています。

Windows サービスパックについて

本機へサービスパックを適用するときは、「インストレーションガイド(Windows編)」に記載の「サービスパックの対応」を参照してください。

Step 6 バンドルソフトウェアのインストール

本機には、次のようなソフトウェアがバンドルされています。
必要に応じて、これらのソフトウェアをインストールしてください。



「管理PC」は、一般的なクライアントコンピューターを使って構築できます(本機を管理PCとして兼用できます)。

名称	インストール先	概要	対応OS	
			Windows	Linux
ESMPRO/ServerAgent Service	本機	本機の状態を監視することができます	○	—
ESMPRO/ServerAgent	本機	本機の状態を監視することができます	—	○
ESMPRO/ServerAgent Extension	本機	本機をリモート管理できます	○	○
エクスプレス通報サービス	本機	本機が故障したときの情報を保守センターへ通報することができます	○	○
エクスプレス通報サービス (HTTPS)	本機	本機が故障したときの情報を保守センターへ通報することができます。	○	—
ExpressUpdate Agent	本機	本機のファームウェア、ソフトウェアなどのバージョン管理と更新ができます	○	○
Universal RAID Utility(URU)	本機	RAIDコントローラの管理、監視ができます	○	○
装置情報収集ユーティリティ	本機	保守用の各種情報を採取することができます	○	○
Server Configuration Utility	本機	BMCを設定することができます	○	○
情報採取ツール actlog	本機	システムに異常が発生した際の原因切り分けを支援します	—	○
情報採取ツール kdump-reporter	本機	Linuxカーネルクラッシュダンプの一次解析レポートを自動生成します	—	○
ESMPRO/ServerManager	管理PC	ESMPRO/ServerAgentService などと連携し、本機を管理することができます	○	○
エクスプレス通報サービス(MG)	管理PC	本機が故障したときの情報を保守センターへ通報することができます	○	—

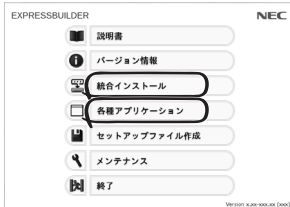
Windows版のバンドルソフトウェアは、オートランメニューを使ってインストールできます。



Linux版のバンドルソフトウェアは、「インストレーションガイド(Linux編)」を参照してください。

次の手順に従ってください。

- ① インストール先が「本機」となっているものをインストールするときは、本機にインストールされたWindowsを起動します。
「管理PC」のときは、任意のPCにインストールされたWindowsを起動します。
- ② Administrator権限のあるユーザーアカウントでログインします。
- ③ Step5 ⑥ の手順に従いEXPRESSBUILDERを起動します。
次のようなメニューが起動します。



- ④ メニューの「統合インストール」または「各種アプリケーション」をクリックします。

- ⑤ インストールしたいバンドルソフトウェアを選択し、クリックします。

- ⑥ 以降、「インストレーションガイド(Windows編)」などに従い、インストールを進めてください。

Step 7 お客様登録をする

弊社では、製品ご購入のお客様に「お客様登録」をお勧めしております。次のWebサイトからご購入品の登録をしていただくと、お問い合わせサービスなどを受けることができます。

<http://club.express.nec.co.jp>



以上で、Express5800シリーズのセットアップは完了です。

トラブルが起きたときは

「メンテナンスガイド」には、トラブルシューティング、障害情報の採取方法、保守サービス会社の一覧などが記載されています。こちらを参照してトラブルを解決してください。
「メンテナンスガイド」は、「ユーザーズガイド」とともにEXPRESSBUILDERへ格納されています。

Express5800シリーズに関するご質問・ご相談は「ファーストコンタクトセンター」でお受けしています。
(電話番号のかけまちがいが増えています。番号をよくお確かめのうえ、おかけください。)

ファーストコンタクトセンター TEL. 03-3455-5800 (代表)

受付時間/9:00～12:00、13:00～17:00 月曜日～金曜日 (祝祭日を除く)

商標について

EXPRESSBUILDER、ESMPROは日本電気株式会社の登録商標です。MicrosoftおよびWindows、Windows Serverは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。Linuxは、Linus Torvalds氏の日本およびその他の国における商標または登録商標です。Red Hat, Red Hat Enterprise Linuxは、米国Red Hat, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

このマニュアルは再生紙を使用しています。

© NEC Corporation 2016
NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。